

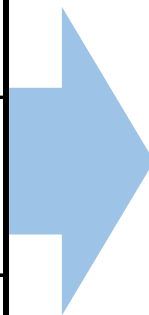
## 2023年度 ガイドライン評価改善シート

施設名 ( 熱海市児童発達支援センター )

作成日時 ( R5.9.22 )

R4年度 改善への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二か月に1度、参観会を開催し、参観会後には決まったテーマについて意見交換や保護者の心配事や悩み事を話し合う機会を作る。</li> <li>・防犯マニュアルの作成及び、職員への周知をしていく。</li> <li>・お子さんの日々の活動を、保護者の方にラインワークスにて個々に発信していく。</li> <li>・家族支援につながるような、研修会など積極的に参加し、より良い支援をしていく。</li> <li>・地域の行事などに参加したり、センターの取り組みを知って頂けるよう発信していく。</li> </ul>
今年度の施設目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会の内容を充実させる</li> <li>・地域との交流</li> <li>・個々の支援について、ビジョンに沿って発展させる</li> </ul>

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での相違点
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状として、バリアフリーは適切な範囲ではある。</li> <li>・活動スペース・共有スペースも十分に確保されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、室内の段差や手すりなどつけておく必要な場所はある。改善できる場所からしていきたい。</li> <li>・利用者が増えていく事を想定し、活動スペースの使い方、職員の確保をしていく必要がある。</li> </ul>
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の評価や、保護者の意見を踏まえ、目標を設定しその目標達成の業務改善に努めている。</li> </ul>	
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容や、個々自立課題などチームで立案している。</li> <li>・保護者のニーズに沿って、支援計画をしている。その計画に基づき支援を行っている。</li> <li>・施設独自のビジョンを立てたことで、支援の考え方の基本ができた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援のガイドラインや、実際の活動プログラム内容までは保護者には伝わっていない。</li> <li>・近隣の一般園との交流保育を行ったが、一部の子どもだけの交流だった。</li> <li>・給食のメニューについて</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士の交流の場を各月の参観会には、保護者会を行うようにしている</li> <li>・関係機関との連携は保護者の同意を得たうえで密に行っており、内容についても保護者に伝えている</li> <li>・ペアトレは実施していないが、保護者の中では実施しているとの回答もあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士の連携の支援がされていない。</li> <li>・6・10月に、多賀幼稚園と交流保育を実施している。(ただし、一般園を併用していない子対象)</li> </ul>
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への支援内容の説明や。相談や申し入れについての説明は、概ねできていると互いに評価</li> </ul>	
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常災害時の発生に備えた訓練がされている。</li> <li>・個人情報の取り扱いが十分に注意されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯マニュアルの作成と周知がされていない。</li> <li>・防災のマニュアルの見直しをした。</li> </ul>



分析検討してみたの事業所の強み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設自体十分な広さがあり活動に合わせたスペースを確保されている。</li> <li>・保護者や子供の気持ちに寄り添い、保護者ニーズや意欲的に分析した支援計画を作成しそれに沿った支援を行っている。</li> <li>・関係機関と密に連携が取れている。</li> <li>・交流保育を受け入れてくれる園がある。</li> <li>・ヒヤリハットを、全スタッフが共有し危険予測に繋がっている。</li> <li>・その日に合った出来事や支援について、スタッフ間で共有できる日誌や相談が出来る時間をとり翌日からの支援に繋げている。</li> </ul>

分析検討してみたの事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士の交流を図れる機会を2か月に1度の保護者会を開催するが参加人数が少ないので別の形での開催を考えなければいけない。</li> <li>・防犯マニュアルの徹底がなされていない。また、訓練もされていない。</li> <li>・ペアトレなどの支援を行っていない。支援者が出来る知識を習得</li> <li>・給食のメニューなど、食育に関しての配慮がたりなかった。</li> </ul>

事業所の改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士の交流の機会について検討 (参観会後の懇談会への出席が少ない点について原因や別の方法を考えていく)</li> </ul>

自己評価を行っての事業所としての感想など
<p>毎年課題になっている保護者同士の関わりの部分は、2か月に1度の参観会の時には保護者会を開催できるようになった。しかし参加者が少ない時が多く、思うように保護者同士の連携の支援ができなかった。休日のイベントなど、父親・仕事をされている方にも参加できる方法を考えていかなくてはいけないと思う。</p>

来年度の施設目標	
----------	--